

令和6年2月2日

保護者様

鹿嶋市立中野東小学校長 山田 岳男

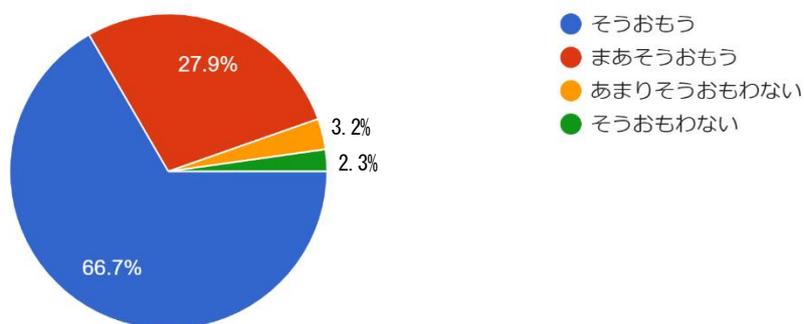
令和5年度 学校評価結果について

ご多用の中、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。学校評価の結果やご意見をもとに、子供たちのために改善を重ねてまいります。今後も、忌憚のないご意見、ご協力をお願いいたします。

1 児童アンケートの結果（単位：％）

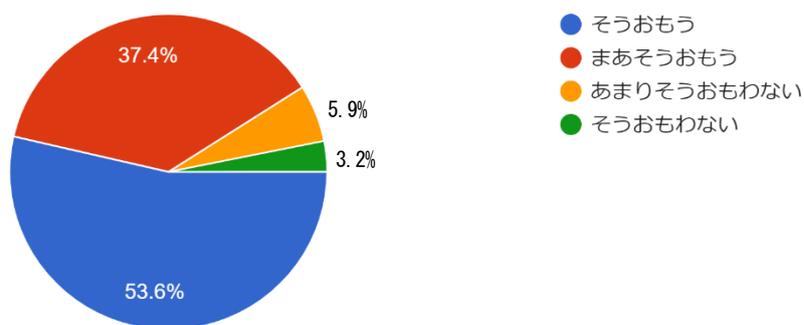
① 先生は、分かりやすく勉強を教えてくれる。

222 件の回答



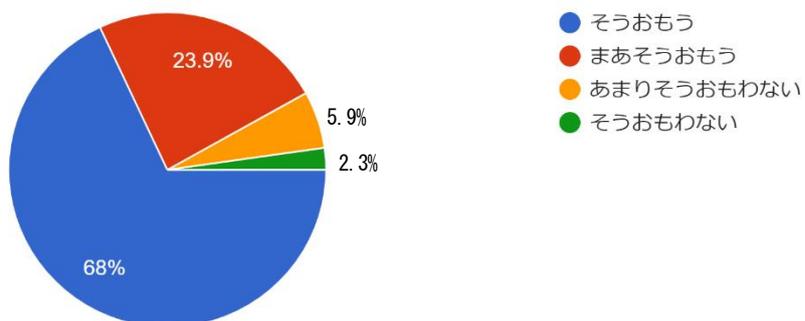
② 先生は、「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思うような授業をしてくれる。

222 件の回答



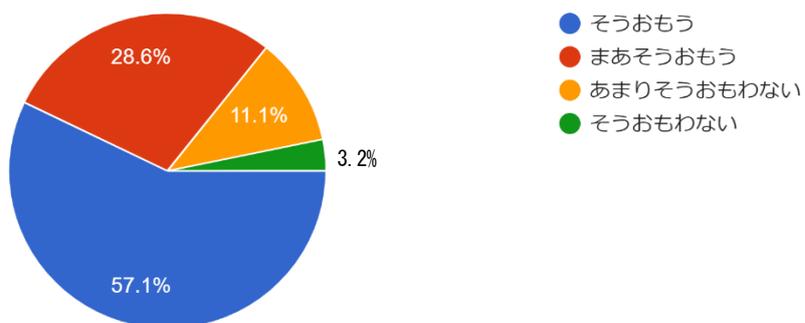
③ 勉強がわからないときには、先生が手助けをしてくれる。

222 件の回答



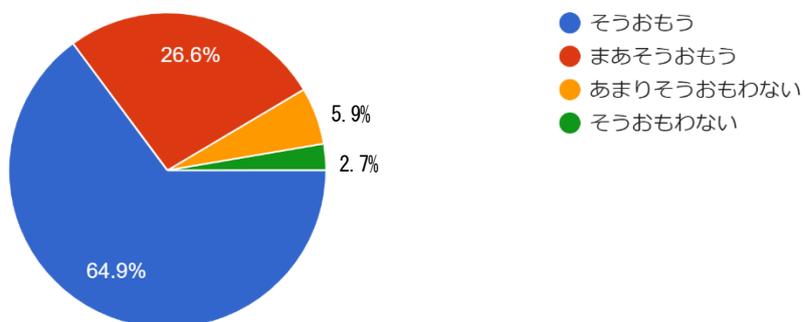
④ 学校の授業では、クロームブックをよく使っていると思う。

217 件の回答



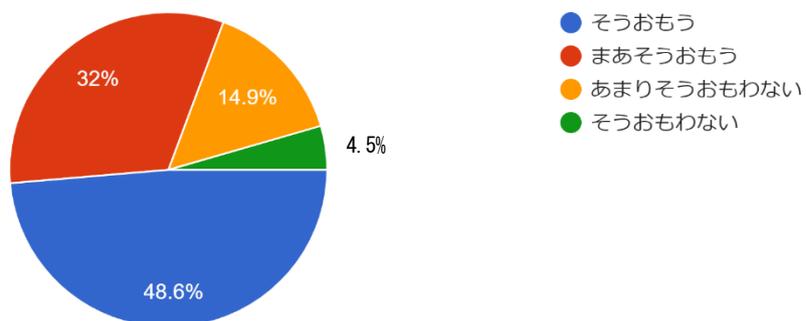
⑤ 先生は、がんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。

222 件の回答



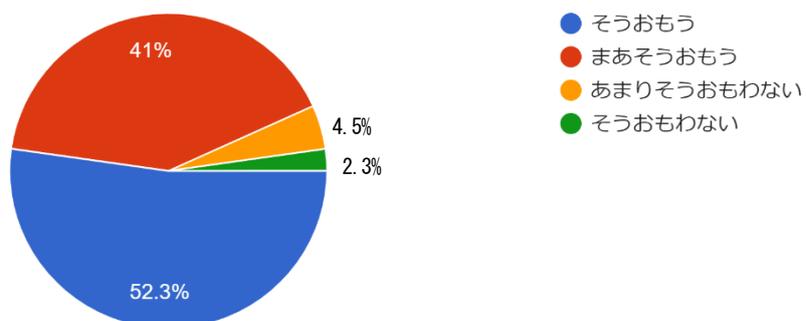
⑥ わたしの学級は楽しく、教室は安心できる場所である。

222 件の回答



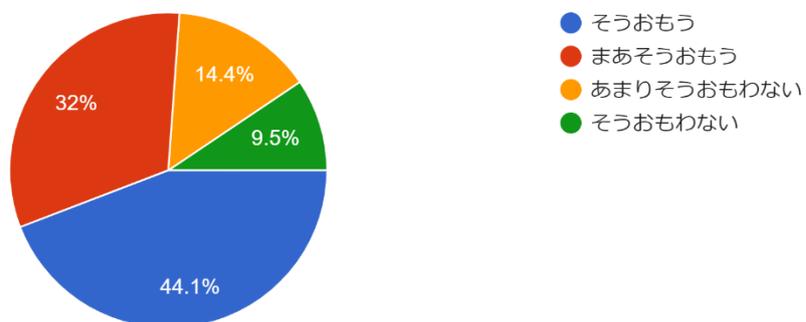
⑦ 学校で、命の大切さや社会のきまり、郷土（茨城県・鹿嶋市）のことについて学んでいる。

222 件の回答



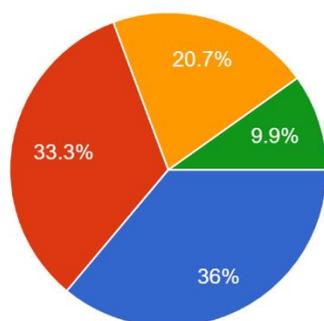
⑧ 学習や生活などについて、学校の先生に相談しやすい。

222 件の回答



⑨ 自分の考えを、書いたり発表したりできる。

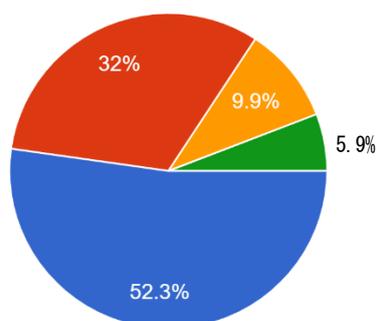
222 件の回答



- そうおもう
- まあそうおもう
- あまりそうおもわない
- そうおもわない

⑩ 進んであいさつができる。

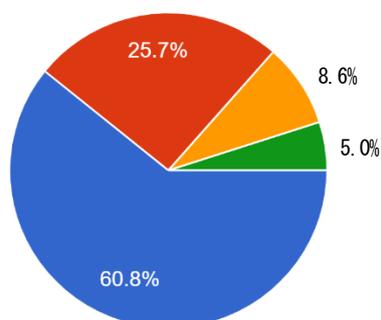
222 件の回答



- そうおもう
- まあそうおもう
- あまりそうおもわない
- そうおもわない

⑪ 外で体を動かして遊ぶことが好き。

222 件の回答



- そうおもう
- まあそうおもう
- あまりそうおもわない
- そうおもわない

【分析】

読み取れることは、以下の3点です。

1つ目は、全体的に肯定的な評価をしている児童が多い、という点です。

全ての質問において、「そう思う」「まあそう思う」という肯定的な回答が約70%以上です。本校の教育活動が、少なくとも一定の成果を収めていると考えます。

2つ目は、個別に見れば「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答する児童もいるという点です。速やかな原因分析・改善策立案が急務です。全体の傾向だけでなく、個別の回答を分析し、この割合を減らしていきけるように努力したいと考えます。

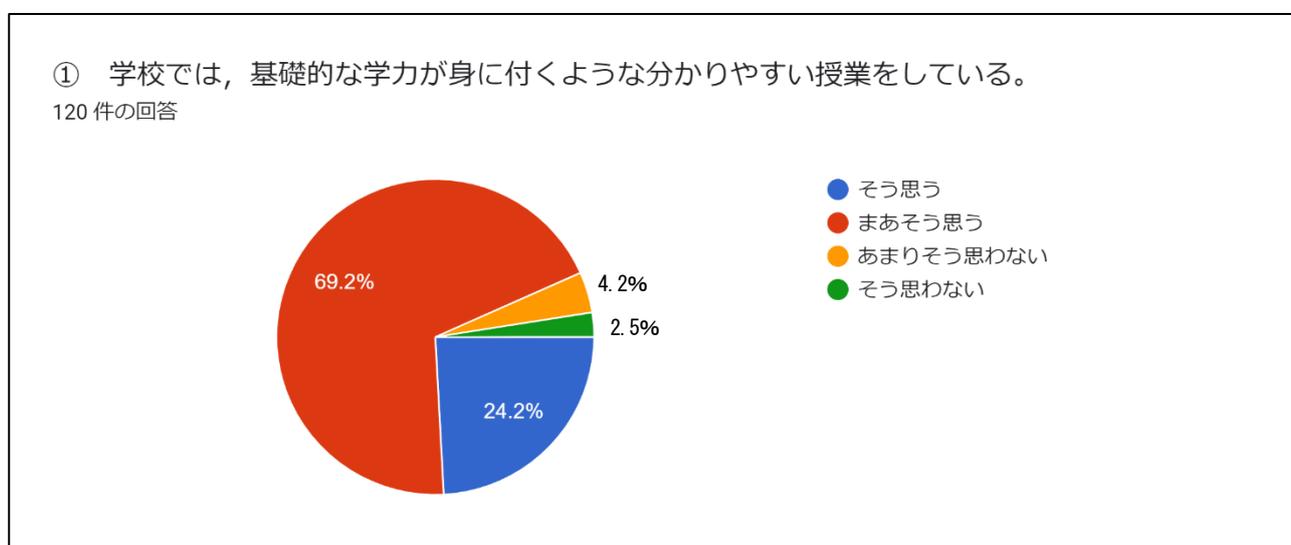
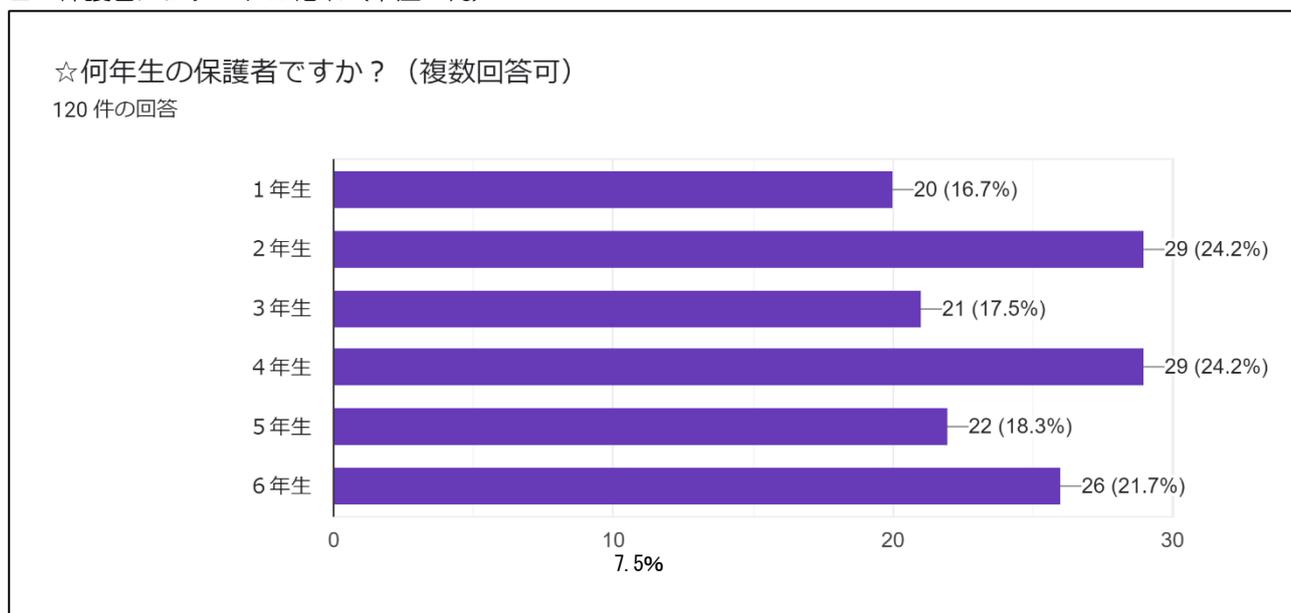
3つ目は、質問⑥、質問⑧、質問⑨に対する回答に、慎重な対応が必要だという点です。

質問⑥「わたしの学級は楽しく、教室は安心できる場所である。」には、「そう思わない」と回答した児童が4.5%います。これは、とても残念なことです。全職員が、原因の究明と改善策の立案に取り組まなくてはなりません。

質問⑧「学習や生活などについて、学校の先生に相談しやすい。」については、「そう思わない」という回答が9.5%と高い割合となっております。制度は充実しているはず（毎月のアンケート調査・学期1回の教育相談・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと言った専門家による希望相談・校内オンライン相談窓口・スクールサイン等）ですが、それと並行して、あるいはそれ以上に、児童との信頼関係作りに腐心していく必要があると感じました。

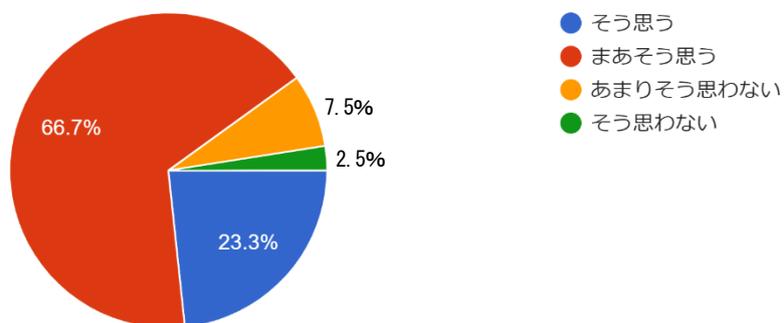
また、質問⑨「自分の考えを、書いたり発表したりできる。」も、「そう思わない」という回答の割合が9.9%と、大変高いのに加え、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が69.3%と、全質問の中で最も低くなっております。これは、本校の学力向上策、特に、思考力・判断力・表現力を高めるための施策に課題があったことの表れです。次年度の学力向上策の中核に据えて、努力して参ります。

2 保護者アンケートの結果（単位：％）



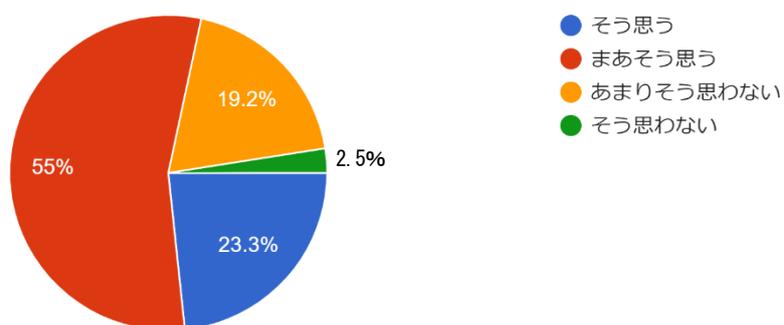
② 学校は、子どもの興味や意欲を高める授業を工夫している。

120 件の回答



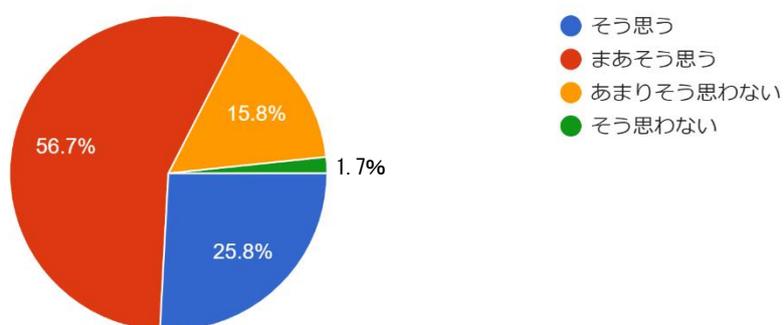
③ 学校は、子どもに応じた学習の手助けを行っている。

120 件の回答



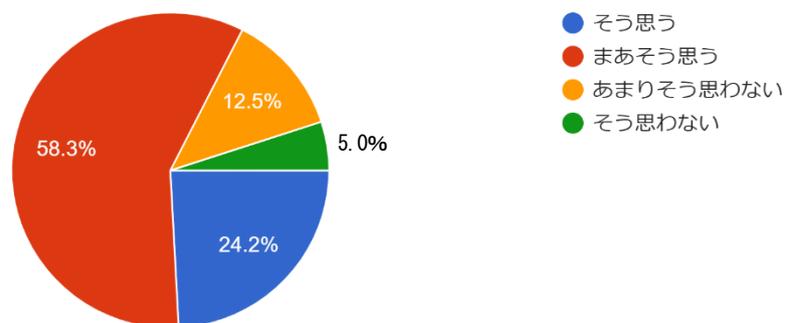
④ 学校は、子ども一人一人を理解し、大切にしている。

120 件の回答



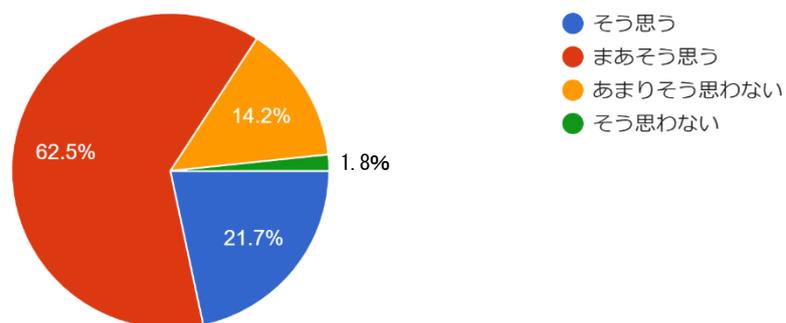
⑤ 学校は、いじめのない学校、学級、環境づくりに取り組んでいる。

120 件の回答



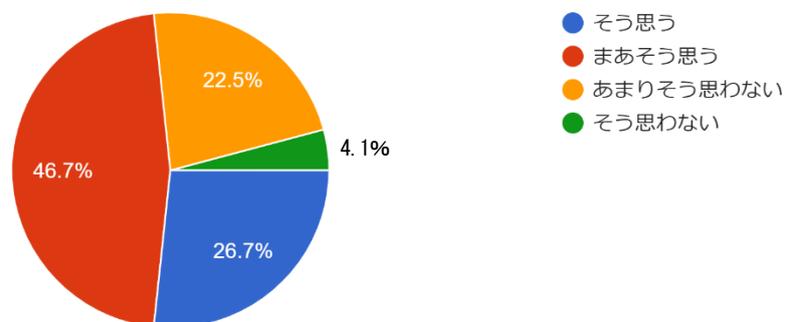
⑥ 学校は、生命を大切にする心、社会のルールを守る態度及び郷土を理解する心を育む教育をしている。

120 件の回答



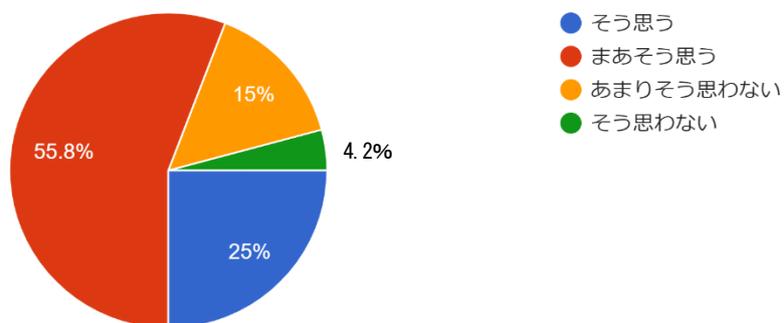
⑦ 学校は、個別面談や教育相談等が充実しており、相談がしやすい。

120 件の回答



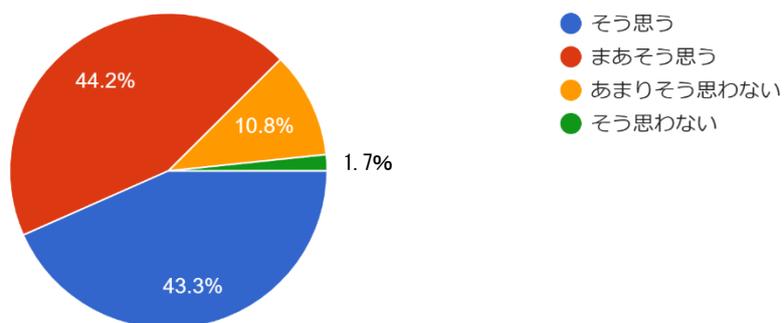
⑧ 学校は、家庭・地域と積極的に連携・協力している。

120 件の回答



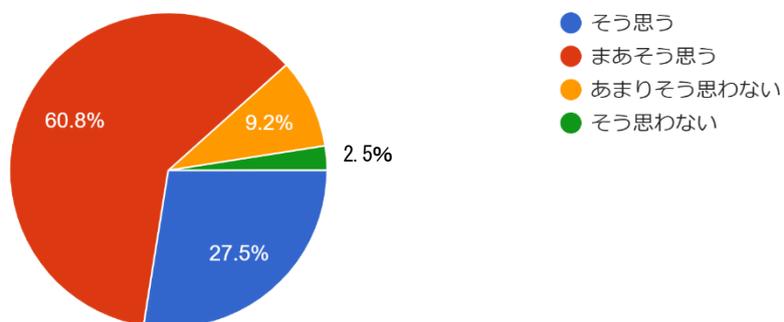
⑨ 学校は、学校の情報や子どもの様子をお便りやホームページ、その他の方法で情報をよく発信している。

120 件の回答



⑩ 学校は、子どもの安全確保や健康管理のための取組を十分行っている。

120 件の回答



【分析】

全体の傾向

どの質問に対する回答も「そう思う」「まあそう思う」を合わせて70%以上の評価を頂きました。日頃の本校の教育活動に対して、ご理解とご協力を頂いていることの表れだと思います。心より感謝申し上げます。

個別の分析

質問①「わかりやすい授業」・質問②「意欲を高める授業」についての回答は、ほぼ同様の傾向で、「そう思う」「まあそう思う」合わせて約90%、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせて約10%でした。児童の質問⑨の分析と若干、相容れない部分もありますが、授業の在り方に関しては高い評価を頂いている、と考えます。

質問③「子どもに応じた学習の手助け」・質問④「一人一人を理解し、大切にしている」についても、回答の傾向はほぼ同じでした。どちらも、4段階で2つめに低い評価の「あまりそう思わない」の割合が高い（質問③19.2%、質問④15.8%）のが気になります。質問③については、個に応じた指導が十分ではなかったかもしれません。今後は、個に応じた学習指導の在り方を検討し、実行できるものを取り入れていきたいと思えます。質問④については、当然、全ての児童を大切に、理解しようとしているつもりですが、それを伝える努力が足りなかったのかもしれません。結果を真摯に受け止め、反省し、今後に生かしたいと思えます。

質問⑤「いじめのない環境づくり」は、4段階で最も低い評価の「そう思わない」という回答の多さ（5.0%と、今回のアンケートの中で最多）が気になりました。もちろん、学校はいじめのない環境づくりを目指しています。しかしながら、この結果は、「学校の、いじめのない環境づくりは十分でない。」と感じている方が一定数いるということですので、今後は、今まで以上に、いじめの未然防止・早期発見・早期解決のための取組を見える化し、効果を実感できるようにする必要があると感じています。

質問⑥「生命尊重・社会のルールを守る態度・郷土愛の育成」については、「そう思う」「まあそう思う」合わせて8割超（84.2%）に対し、「そう思わない」が1.8%と低く、良好な結果と考えます。全クラスで、「特別の教科 道徳」で年に複数回扱い、心を耕しているのに加え、学級活動や生活指導で行動面の指導を確実に実施しております。こうした指導の成果は、すぐに表れるとは限りませんが、人として大切にすべきことについては、学校はしっかりと指導しています。

質問⑦「個別面談と教育相談の充実」については、全体の傾向よりは、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した方が、合わせて26.6%いたということを反省したいと思えます。先に示した、児童の教育相談に関する意識でも、「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が23.9%あり、ほぼ同様の数値でした。学校は、いつも相談の窓口は開いているつもりですが、「機会がない」「相談しにくい」と感じさせてしまっているのが事実なのでしょう。積極的に機会を設けたり、敷居を下げたりする等、改善策を検討します。

質問⑧「家庭・地域との連携協力」と質問⑩「安全確保と健康管理」は、回答が同じ傾向でした。コロナがひと段落し、今年は地域との連携交流が昨年度に比べて増加しました。安全確保と健康管理も、課題がないわけではありませんが、その都度対応していくとして、全般的には及第点の評価を頂いていると考えます。

質問⑨「情報発信」は、高い評価を頂いたと考えています。もっともっと工夫できる点もあるかもしれませんが、現時点では良好な評価を頂いたと考えています。

【保護者の皆様から寄せられた自由記述】

※原文のままだと支障があると考え、言い回しを少し変えて概要を公開いたします。職員間では、原文のまま共有させていただいています。

- ① リーバーでコメントすると返事が頂けて安心できる。
また、保護者は、雨の日に車で子どもを送ってくる時、出入口近くではなく、きちんと校長先生が立っている位置まで行ってから子どもを降ろすようにしてはどうか。渋滞防止・先生へのあいさつという意味で大切。
- ② 体操服の半袖をTシャツ生地にして欲しい。厚い生地だと熱中症リスクがある。
- ③ 宿題が少ない。
- ④ 持久走大会の賞状が、手渡しでなく、朝、机の上に置いてあった。配慮が足りないと思う。
- ⑤ 学校も、業務削減・行事精選を進めて行って欲しい。今、やっている業務も外部委託できるものは、できた

らたらいいのに、と思う。

- ⑥ 担任の先生や校長先生が、休み時間にサッカーをしてくれてうれしい。
- ⑦ ケガをした時に先生に言いづらい、と聞く。担任の先生と子供のコミュニケーションが十分とれているのか疑問。
- ⑧ いつもお世話になり、感謝している。
- ⑨ 特になし。
- ⑩ 教室に来られていない子が教室に来たとき、子どもが声をかけたら、先生に「そっとしておいて」と言われた。それでは孤立してしまうのではないか。先生は、言葉かけの際、配慮して欲しい。
- ⑪ 先生の言葉遣いが良くないと聞く。クラス全体に対しても、個人に対しても。
- ⑫ 登下校の際の歩き方が悪く、危険である。安全のために、登下校の様子を見てくれるとうれしい。
- ⑬ 雨の日、校長先生自ら交通整理して下さってありがたい。先生方全員が子どもを慈しんでくれることに感謝。
- ⑭ 子どもが下校する時間だけでも、先生方はパトロールすべきではないか？車で安全な下校を確認したり、ルートを分担して子どもの安全を守ったりしている学校もある。中野東小は、やっているのか？
- ⑮ 担任の先生のおかげで、学習意欲も高まり、楽しく登校できており、感謝している。
- ⑯ 高学年になるにつれ、いじめや先生方の指導に不安を感じる。良い環境の中で学習できるよう、よろしくお願いしたい。
- ⑰ 遊べる遊具が少ないと思う。学年によっては校庭に行けず、ボールも使えず、鬼ごっこしかできないというのは見直して欲しい。
- ⑱ 休み時間はPCでなく、体を動かす機会を促進すべき。PCにはGAMEとしか捉えられないアプリもある。錆びていて、遊ぶには適さないものがある。雲梯で遊びたい子どもが遊べない。下校時、通学路ではない道路を横断している子どもを見かける。横断歩道もない道を学校は推奨していると思われるも仕方ない。再度、徹底を図って欲しい。
- ⑲ 現在の立場に相応しくない、と感じる先生がいる。
- ⑳ (学年が)1クラスになるか2クラスになるかは、スタディ在籍以外お子さんの人数で決まると聞く。だが、実際にはスタディ在籍のお子さんもほとんどの授業を一緒に受けているのではないか？(なぜ、その条件なのか?)また、副担任がお休みの時は代わりの先生をつけて欲しい。担任の先生一人では指導は難しい。それに、副担任の先生は自学等のチェックではなく、児童のサポートをして欲しい。
- ㉑ 大谷翔平選手から贈られたグローブを地域や保護者にも公開して欲しい。

【自由記述に対する回答】

ア お褒め・励まし意見 (①、⑤、⑥、⑧、⑬、⑮) に対して

ご意見ありがとうございます。お褒めの言葉、励ましの言葉をいただくと、とても励みになります。今後も、子どもたちのためにがんばりたいと思います。

イ ご要望 (②、③、⑩、⑫、⑭、⑯、⑰、⑱、⑳、㉑) に対して

- ・Tシャツの生地については、検討させていただきます。ただ、変更になるかどうかは、現時点では何とも申し上げられません。
- ・宿題の量については、発達の段階等に応じて適切な量になるよう再検討いたします。
- ・「そっとしておいてほしい」の言葉だけでなく、補足が必要だったと感じます。教師の言葉の影響について十分考慮して、児童に接していきたいと思えます。
- ・登下校の見守りについては、現在行っている取組(登校班会議での指導、定期・不定期の立哨指導等)を今後も継続していきます。国が示す方針で「登下校に関する業務は本来教師が担うべきでない業務」とされていることもあり(本文書末の表 参照)、学校の方針として、今後、大々的に校外での見守りを充実させる、とは考えておりません。また、通学路に適さない道を学校が通学路に推奨している、ということはありません。そのような危険な道を通っている児童・登校班がいるのであれば、大至急、確認・指導し、改善案を話し合います。
- ・いじめの指導に関しては、先の質問⑤に対する回答で示した通りです。充分気をつけていきます。
- ・壊れた遊具、修理が必要な遊具については、既に、市に修理要望を出しています。修繕してもらえるかどうかは、市が予算を配当してくれるか否かできまり、学校は独自に修理できません。市の回答待ちです。
- ・遊び場所、遊び方のルールに関しては、発達の段階や安全性を考慮して、今後、全職員で話し合いをいたし

ます。貴重なご意見をいただきましたので、現在のルールが適切なのがどうか、再検討いたします。

- PCの利用については、ご指摘の通りだと思います。貴重なご意見をもとに、現在のルールを再検討していきます。
- 学年が1クラスになるか2クラスになるかは、県の基準で定められております。全学年2クラスが望ましいとは思いますが、学校独自に決めることはできません。基準に従うしかないのが現状です。
- どの学級にも「副担任」という位置付けの教員はおりません。現在、中野東小学校は「アシスタントティーチャー」と「非常勤講師」、計3人配置されていますが、この職員の主な業務は、担任教師が受け持つ事務処理等を手助けする（例えば、ノートやプリントのチェック、教材・教具の準備等）ことです。その仕事が空いた時に、必要に応じて机間指導等をして児童の学習を補助いたします。「担任教師が2人いる」という状況ではございませんので、ご理解いただきたいと思います。また、この職員が休みを取った場合、代わりを配置したいところではありますが、現状、人員に余裕がないので難しいところです。
- 大谷選手のグローブの保護者等への公開については、2月22日（金）の学級懇談会の際に、職員室廊下に展示し、希望される方が誰でも手に取れるようにしたいと思います。その他に、学校ホームページで、「職員室にお声掛けいただければ、誰でも見たり、触ったりできる」旨を周知する予定です。

ウ お叱りの意見（④、⑦、⑪、⑬）に対して

- 賞状は手渡しする、旨、全クラスに確認しました。申し訳ございませんでした。
- ケガをしたときに先生に言いづらい、と感じている児童がいることを、全職員で認識し、そういう気持ちを感じさせないようにするよう、注意喚起いたしました。申し訳ございませんでした。
- 言葉遣いについて、十分注意するよう、全職員に注意喚起いたしました。申し訳ございませんでした。
- 相応しくない、という感覚を与えてしまったということは誠に申し訳なく思います。残り数か月、十分注意するよう、注意喚起いたしました。

【参考】 これまで学校・教師が担ってきた代表的な業務の在り方に関する考え方 （「中間まとめ」より抜粋）	基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
	<p>①登下校に関する対応</p> <p>②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応</p> <p>③学校徴収金の徴収・管理</p> <p>④地域ボランティアとの連絡調整</p> <p>※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。</p>	<p>⑤調査・統計等への回答等（事務職員等）</p> <p>⑥児童生徒の休み時間における対応（輪番、地域ボランティア等）</p> <p>⑦校内清掃（輪番、地域ボランティア等）</p> <p>⑧部活動（部活動指導員等）</p> <p>部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。</p>	<p>⑨給食時の対応（学級担任と栄養教諭等との連携等）</p> <p>⑩授業準備（補助的業務へのサポートスタッフの参画等）</p> <p>⑪学習評価や成績処理（補助的業務へのサポートスタッフの参画等）</p> <p>⑫学校行事の準備・運営（事務職員等との連携、一部外部委託等）</p> <p>⑬進路指導（事務職員や外部人材との連携・協力等）</p> <p>⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応（専門スタッフとの連携・協力等）</p>

▲「学校における働き方改革に関する緊急対策 【概要】（平成29年12月26日 文部科学省）」より